

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	特進一貫	芸術	書道 I	全	選択	1

講座のねらい

- 1、小中学校での書写を基本に、文字を素材とした芸術としての書道を学び、古典に基づく表現力・鑑賞力を身に付けます。
- 2、漢字・仮名・漢字仮名交じりの書・硬筆と幅広い活動を通して書に興味を持たせ、豊かな感性と表現力を身に付けます。

使用教材及び問題集

書道 I（光村図書）

一学期は、蘭亭序のお手本を毎時間配布します。二学期は、仮名用の筆を用いて、仮名のお手本で学習します。三学期は、実用書のお手本で実用書の勉強をします。

授業の内容と進め方

基本的な用筆法・執筆法・姿勢を確認しながら、各章の活動内容の目標を説明した上で、机間巡視をしながら、実技指導を行います。授業の終わりには作品を提出するよう指示をします。

講座の到達目標

書の文化に親しみと関心を持たせ、中国や日本の古典作品の臨書を通じて表現技法や鑑賞力を養います。また、実用書の練習を通じて書写能力全般の向上を目標とします。

評価の観点・テスト・課題など

評価は具体的に次のものを対象にします。

- ・各時間提出した作品（表現力・鑑賞力など）
- ・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度・意欲など）に基づく平常点
- ・1・2学期期末考査の成績
- ・忘れ物やマナー面

1年間の評定は上記の内容を総合的に判断します。

備考

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

高校1年で使用した書道Ⅰの教科書の続きから入ります。
中国や日本を代表する古典の行書作品を鑑賞し、臨書作品を作ります。
古典作品の鑑賞・臨書を繰り返すことで習得した古典作品の特徴や書風を生かして、創作作品をてがけます。

2 学期 学習計画および学習内容

かなの成立や種類、かなの美について学びます。
連綿や変体仮名についても学び、行書きや散らし書きの作品を作ります。
日本を代表する古筆の名品を鑑賞し、臨書練習します。

3 学期 学習計画および学習内容

感動する言葉や詩文・歌詞を現代の感性で、現代の表記法を用いて、漢字仮名交じりの書で創作します。
紙面をどう使い、自分の思いや感性をどう表現するかを研究することも大切な作業です。